

特集

脳卒中センター

～ 1秒でも早い治療開始を目指して～



Model : 後列左から 薬剤師 難波さん、脳神経外科 半田明医師、脳神経内科 永井太士医師、理学療法士 藤田さん
前列左から 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 高津さん、佐々江さん
当院の脳卒中センターでは、多職種からなる専門チームによる治療を早期から集中的に実施しています。

Photographer : Yudel Ogino

キラリ☆元気さん

診療技術部 リハビリテーション課 副主任 理学療法士
平上 裕哉

そこが知りたい

テレビなど床頭台利用の定額料金制について

知っ得情報

マイナンバーカードを健康保険証として利用できます

- 経営理念
- 一、安心して、生命をゆだねられる病院
 - 一、快適な、人間味のある温かい医療と療養環境を備えた病院
 - 一、他の医療機関・福祉施設と共に良い医療を支える病院
 - 一、職員ひとりひとりが幸せで、やりがいのある病院

ライフサプリ

記憶力・注意力のチェック

きょうとう連携のわ

宮本整形外科 駅前診療所

キョクトウニュース

新しい医師紹介

クラウドファンディング目標達成!

特集

「脳卒中センター」 ～ 1秒でも早い治療開始を目指して～

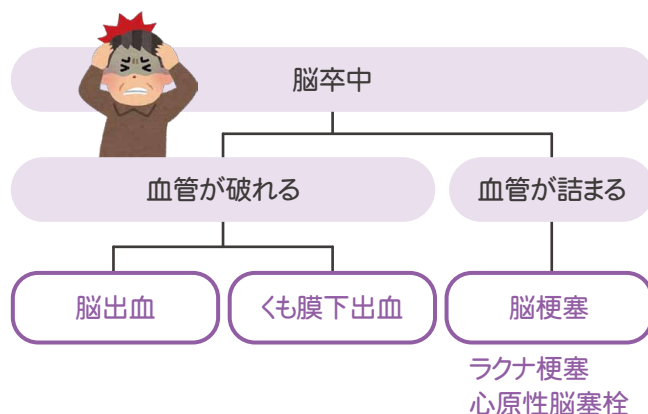
脳卒中は大きく分けて、血管が破れる脳出血・くも膜下出血と脳の血管が詰まる脳梗塞があります。脳梗塞には細い血管が詰まるラクナ梗塞、心臓からの血塊が詰まる心原性脳塞栓に分けられます。

脳卒中の治療を成功させるポイントは、可能な限り超早期から治療介入することです。当院では、迅速かつ切れ目のない専門的な医療を提供するために、2000年に『脳卒中センター』を開設し、一次脳卒中センター※の認定を受けています。今回は、当院の脳卒中センターの体制を紹介します。

※地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が、患者搬入後、可能な限り速やかに診療を開始できる施設として日本脳卒中学会から認定。



脳卒中センター

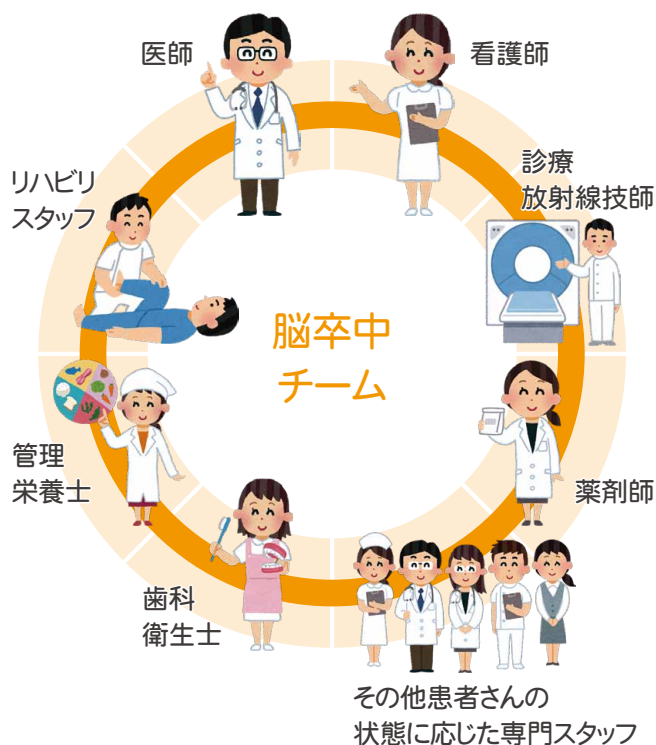


脳卒中センターのスタッフ体制

当センターでは、脳神経内科医および脳神経外科医が24時間緊急の脳卒中に対応できる体制をとっており、放射線科医による画像診断も併せて、治療方針を検討しています。

脳卒中は高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病や不整脈が背景となっていることも多く、必要に応じて内科医、循環器内科医も治療に関わります。また、栄養状態が悪いと機能回復が遅れるため、栄養サポートチーム(NST)も支援します。

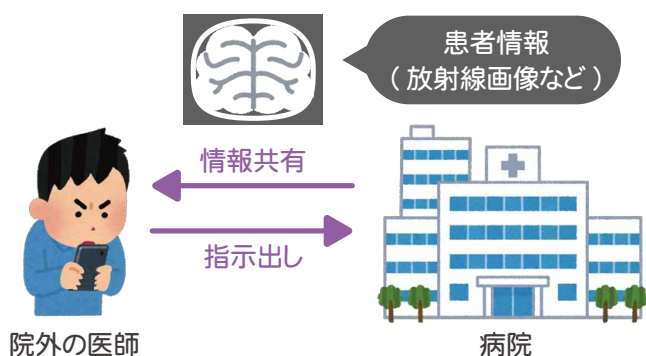
多職種からなる専門チームによる治療を
早期から集中的に実施しています。



24時間365日チームで情報共有

夜間休日などで院外にいる脳卒中チームスタッフにも、連絡事項や放射線画像を含む患者さんの情報を共有できる、医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」を導入しています。院内外問わず、医師からの迅速な指示出しにより、より素早く治療を開始できます。また、全職種に治療内容、経過が分かるよう情報共有することにより、医療の均質化や見落とし防止に繋がっています。

個人情報の匿名化やデータの暗号化により、高度なセキュリティ環境のもと情報共有しています。



入院から退院まで安心できるように

患者さんの状態に応じて、重症者はHCU(高度治療室)、軽症者は脳卒中センターに入院となります。

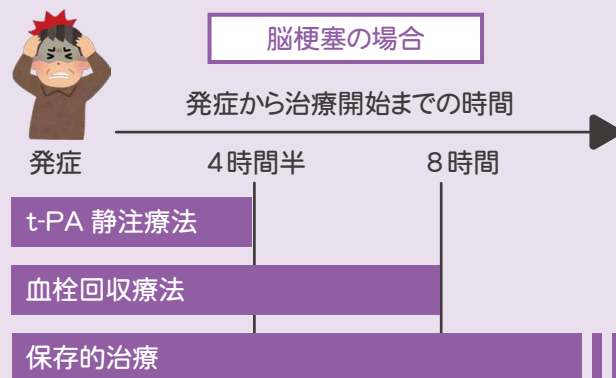
脳卒中センターでは、主に発症から約2週間の急性期治療をおこない、症状が落ち着き「亜急性期」になった患者さんは退院するか、自宅や家族の家に近いリハビリテーション病院に転院するなどして、さらに機能訓練を続けていただくことになります。また、回復度の評価や問題点の共有・解決のため、必要な医療福祉、介護サービスが受けられるよう医療ソーシャルワーカーが対応することもあります。



治療の選択肢を広げるために

脳卒中は、発症から治療開始までの時間が短いと、実施できる治療の幅が広がります。患者さんに合わせて保存的(内科)治療、カテーテル治療、外科治療から最適と考えられる治療をおこないます。

脳卒中で最も多い「脳梗塞」に対しては、当院はt-PA静注療法(血栓溶解療法)の実施が常に可能で、カテーテルを用いた再開通療法(血栓回収療法)にも積極的に取り組んでいます。



脳卒中のサイン「FAST」を覚えましょう

脳卒中を見逃さないように、脳卒中の可能性が高いと考えられる初期症状の合言葉「FAST」を覚えて、早期発見・早期治療をしましょう。

Face

顔のゆがみ

- ・「イー」とした時の顔の動きに左右差がある
- ・食べ物が口の片側からこぼれる

Arm

片腕の麻痺

- ・両腕を胸の高さでまっすぐ上げた時、片腕だけが下に落ちてくる

Speech

うまく喋れない

- ・呂律が回らない
- ・物の名前が出ない
- ・思った通りの言葉が出ない

Time

すぐに受診

FASTのうち1つでも当てはまれば、すぐに救急車を呼びましょう

詳しくは動画で解説しています
YouTubeにアクセスしてご覧ください ▶



キラリ★元気さん



診療技術部
リハビリテーション課 副主任
理学療法士

ひらがみ ゆうや
平上 裕哉

脳卒中認定理学療法士の平上さんに、
リハビリの大切さや心がけていることを
お聞きました。

Q 主な業務

A 脳卒中の患者さんを中心に、リハビリを担当しています。脳卒中が発症した場合には、さまざまな身体機能に異常が現れます。体力や身体機能の低下予防、脳の残存機能回復のためにも、できるだけ早期からのリハビリが重要になります。状態が安定してきたら、座る・立つ・歩く、その他にも患者さんの生活にあった動作練習などを実施しています。

Q 心がけていること

A 患者さんが歩んでこられた人生に目を向け、心身ともに寄り添うことを心がけています。特に、患者さん自身が、これからの人生を前向きに考えられるような声かけをおこなっています。また、患者さんに直接聞けない場合は、ご家族の思いを大切にしながら、最善のリハビリを実施できるよう日々取り組んでいます。



Q やりがいを感じるとき

A 患者さんの状態が、日々良くなっていくことを一緒に実感できるときや、ご家族が安心して喜んでいるときにやりがいを感じます。脳卒中の病態はさまざまで、何が効果的なリハビリなのか、悩むときもあります。思考錯誤しながらも患者さんにとって最善の方法を見つけていくことも理学療法士のやりがいの一つと感じています。

Q 地域の方にメッセージ

A 「脳卒中かもしれない」という症状があれば、少しでも早く救急車を呼んでください。当院では、入院翌日から状態に応じてリハビリを開始し、365日休みなく実施します。万が一脳卒中になっても、私たちが全力でサポートさせていただきます。お任せください。

テレビなど床頭台利用の定額料金制について

2023年9月1日から、病棟の床頭台をリニューアルして、以下のサービスを1日550円（税込み）の定額料金でご利用いただけるようになりました。

※個室の方は、個室料金に含まれています。

サービス内容

- **テレビ 見放題**
地デジ・BS放送 全20チャンネル
※個室以外の方は、イヤホンをご用意ください
- **冷蔵庫**
500mlペットボトルが12本収納可能
- **Wi-Fi（インターネット）接続**
- **売店商品の注文**
お支払いは、現金のみとなります
- **洗濯・乾燥機 の利用無料**
洗剤は、各自をご用意ください



床頭台

ユカリアタッチの導入で 医療安全 医療の質向上

ユカリアタッチは、電子カルテと連携した情報端末です。患者さんの状態把握や情報共有が素早くおこなえ、業務が効率化できます。それにより、患者さんの医療安全や医療の質向上が期待できます。
※患者さん情報は、職員のみ閲覧可能。

本サービス開始に伴い、従来のテレビカードは2023年8月末をもって廃止となりました。

知っ得情報

マイナンバーカードを 健康保険証として利用できます

当院では、マイナンバーカードを健康保険証として利用することができます。マイナンバーカードの利用により、高額療養費制度の「限度額認定証申請」の事前手続きが不要となり、受付で即時制度が適用されます。ご利用される方は、総合受付の職員にお声がけください。

高額療養費制度とは？

自己負担額を超えた分の医療費が、返還される制度です。あとから還付請求も可能ですが、事前に申請し、届いた限度額認定証を病院に提示することで、窓口での支払いを自己負担限度額内にとどめることができます。

受診時に
マイナンバーカードを提示すれば
上記の手続きが不要に！





ライフサプリ

記憶力・注意力のチェック

早期診断が重要な認知症

認知症は、加齢に伴って誰しもが発症する可能性がありながら、未だにその特効薬がありません。そのため、少しでも早く診断し、発症や進行を遅らせるための予防をしていくことが重要です。

認知症は自覚症状が乏しいケースも多くあるので、若い年齢から定期的に脳の認知機能を測ることは、認知症を含む脳疾患の予防に繋がります。

記憶力・注意力をセルフチェック

当院では、スマートフォンで手軽に、記憶力・注意力などの認知機能をセルフチェックできるツール「mCQ®」を導入しました。どなたでも無料で実施できるので、認知機能をチェックしてみてください。



記憶力・注意力を3分でセルフチェック

二次元コードを読み取ってスタート



チェックの流れ

1 性別・年代を回答

2 記憶力・注意力テスト

3 結果を確認

より詳しい検査をご希望の方は、当院健康センターの新たな脳ドックのオプション「Brain Life Imaging®+」をオススメします。



AIを活用した認知機能の検査導入

認知機能は、加齢や様々なストレスにより脳が影響を受けることで低下していきます。認知機能低下の10年以上前から脳の萎縮は始まるとされています。

当院健康センターで新たに開始した脳ドックのオプション検査「Brain Life Imaging®+」は、記憶や学習に関わり深い「海馬」の体積を、頭部MRI画像からAIで解析します。認知症の前兆といえる脳の萎縮を観察し、認知症の早期発見に役立てます。

「Brain Life Imaging®+」の検査内容

CQtest®

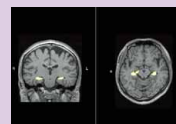
日常生活では意識することが難しい認知機能をiPadを使用したテストで測定



AIによる認知機能チェック

今まで測定が難しかった海馬をAI技術により数値化

AIを活用し、目視による確認では難しい微小な海馬を解析し、その体積を測定します。



健康な時からの脳の経年推移を可視化

海馬体積の定期的な観察、経年推移の可視化をし、脳の状態を維持する指標にします。



日頃の生活意識の改善ポイントが分かる解析結果レポート

脳の状態を同世代と比較するレポートや、記憶力の維持・向上につながる日常行動のヒントなど、多様なサポート情報を提供します。



ご予約はお電話、またはオンラインでお受けします
健康センター直通

086-276-7870

(平日 10時～17時)

オンライン申し込みはコチラ ▶





宮本整形外科 駅前診療所

和気 博文 院長

施設の特徴

1962年に岡山で初めての整形外科専門医院「宮本整形外科医院」を開業して以来、長年にわたり地域の患者様の診療に携わってきました。現在の錦町の宮本整形外科駅前診療所は1967年に開設しましたが、建物の老朽化により、2022年にビルの建て替えをおこないました。

地域の特性を活かしビルの1階から3階は飲食店が入居し、4階を診察室、5階をリハビリテーション室にして診療を再開しています。5階のリハビリテーション室は、患者様の安全面を考慮し幅広いスペースと緩衝吸収作用のある床材を使用しています。

診療モットー

患者様に安心していただける優しい診療を行っています。腰痛や関節痛、骨粗しょう症の治療などお気軽にご相談ください。火曜日の午前中は、糖尿病や高血圧、高脂血症など生活習慣病の内科診療もおこなっています。



診療科目

整形外科

骨、関節、脊髄に関する筋骨格系の疾患

内科

一般内科、生活習慣病(高血圧・糖尿病・高脂血症など)

診療時間

午前 9:00～12:00

午後 15:00～18:00

	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
内科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○

休 診

日曜 / 祝日

〒700-0902 岡山市北区錦町2-8

☎ 086-225-2311

<https://www.miyamoto.or.jp/ekimae/>



◆公共交通機関をご利用の場合

バス停「岡山駅」を下車 徒歩7分

◆車の場合 提携駐車場

服部パーキング第一・服部パーキング第二

新しい医師紹介

診療科：内科

診察日：月曜午前・水曜午前



かはら けんじ
加原 健治

笠岡市民病院や瀬戸内市民病院での内科診療において、主に糖尿病や消化器疾患を担当していました。今までの経験を活かし、外来では患者さんに寄り添いながら適切な治療や提案ができるように心がけて参ります。入院では、内科疾患サポートによって、より良い経過の一助となれるよう努力します。お気軽にご相談下さい。宜しくお願い申し上げます。

クラウドファンディング目標達成!

7/3から開始した当院初のクラウドファンディングへの挑戦は、目標を大きく上回り達成することができました。

当院の「地域の医療を守りたい」という趣旨にご賛同いただき、多くの皆様から多大なご寄付と心温まるご声援をいただきまして、心より感謝申し上げます。

支援金額

21,015,000円

目標金額: 15,000,000円

支援者数

318名



地域医療支援病院

公益財団法人 操風会

岡山旭東病院

OKAYAMA KYOKUTO HOSPITAL

脳・神経・運動器疾患の総合的専門病院

臨床研修指定病院（協力型）

脳神経外科、整形外科、脳神経内科、リハビリテーション科、内科、循環器内科、麻酔科、放射線科、リウマチ科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、救急科、健康センター、脳卒中センター、サイバーナイフセンター、PET・RIセンター、スポーツ・関節外科センター

〒703-8265 岡山県岡山市中区倉田 567-1
Tel. 086-276-3231 Fax. 086-274-1028
<https://www.kyokuto.or.jp>



10月 催しのご案内

参加無料 健康教室のご参加は、事前に申込みをお願いします。

10/18(水) 14:00～15:00 第122回転倒予防健康教室

10/28(土) 9:30～12:30 地域ふれあいフェスティバル

感染症の流行状況により、急遽中止になる可能性もございます。

参加される際は事前にホームページをご確認のうえ、お越しください。

申込み方法

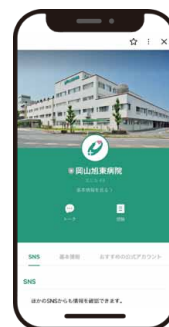
① 岡山旭東病院

公式LINEから

② 電話から

☎ 086-276-3231(代表)

担当:企画広報室



LINE登録方法

- 二次元コードを読み取って友だち追加
- ID検索で友だち追加 ID:506novwc



病院統計 (2022年1月～12月)

外来患者延数	78,272人	地域医療支援病院紹介率	54.8%
入院患者延数	56,155人	地域医療支援病院逆紹介率	83.6%
新入院患者数	4,041人	救急患者搬入件数	1,824件
退院患者数	4,045人	脳神経外科手術件数	227件
平均在院日数	12.3日	整形外科手術件数	2,012件

診療時間

午前 9:00～12:00 (8:30受付開始)

午後 14:30～16:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	△	○	△

休 診

木曜午後 / 土曜午後 / 日曜 / 祝日

(但し、急患はこの限りではありません)

あとがき

中風(脳卒中)は急に(卒)悪い風に中って(あたって)起きると考えられていました。一刻も早い治療により麻痺の改善や死亡割合の低下が期待されます。

院長 吉岡純二